

# 會報

平成13年3月20日 発行

第 46 号

関東地区整形外科勤務医会

発行者：会長 村瀬 鎮 雄

発行所：事務局 代表 関 寛 之

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

国立身体障害者リハビリテーションセンター病院内

関東地区整形外科勤務医会

☎ (042) 995-3100

FAX (042) 995-0355

## 巻頭言

### 勤務医レベルの研修医交換を

虎の門病院整形外科部長 立花 新太郎

平成16年度より厚生労働省主導の新しい卒後研修制度が導入されることになった。一部の大学では大学院大学へ再編が進んでおり、研究重視の方向へカジをきる大学も多いことだろう。大学では研究と学部教育に力を注がざるを得ず、卒後研修の主たる場を提供するのは市中病院ということになる。しかし、現状では各病院の整形外科は大部分が30～40床であり、その限られた病床数と限られたスタッフでは専門医の条件を満たすような研修を提供することは不可能である。現状はその整形外科を主宰する部長の subspeciality に診療が偏っているのではないだろうか。大学医局に属する研修医はローテーションによりいくつか病院で研修を受け、不足を補い、偏りを是正することが可能だが、各病院に直接就職した研修医（レジデント）にとっては次の研修先を探すのは難しいのが現状である。新しい研修制度の動向は不明であるが、大学医局に属さない研修医に良い研修を提供するのは指導者の責務であり、実績があがれば大学医局に属さない研修医の増加が見込まれる。市中病院での研修における現状の不足を補うためには、勤務医レベルの連携が望ましい。例えば、私の病院での研修に不足している小児整形、救急外傷、スポーツ整形、腫瘍の集学的治療などをこれらの分野を得意とする研修病院が補って頂ければ理想的である。逆に当院での研修を希望される研修医が居れば喜んでお引き受けしたい。身分、給与など現実に解決しなければならない難問があると思うが、是非実現したいと考えている。そのための第一歩は診療内容の公表であろう。年間の疾患別症例数、手術件数など基礎データの集計と公表を急がなくてはならない。

さて、来る4月から事務局を引き継ぐことになりました。どうぞ宜しくお願い致します。

関先生、長い間ご苦勞様でした。今後もご指導宜しくお願い致します。

## 主要目次

1. 巻頭言 ..... 勤務医レベルの研修医交換を ..... 立花新太郎 ..... 1
2. 第31回教育研修会記事 ..... 2
3. 平成13年関東地区整形外科勤務医会総会および第32回教育研修会のお知らせ ..... 4
4. 会員の異動 ..... 5
5. 入会のご案内 ..... 5
6. 事務局日誌・編集後記 ..... 6

## 第31回教育研修会の報告

平成12年12月2日(土)、住友化学参宮寮を会場に第31回教育研修会を開催した。受講者数は46名であった。

関東地区の各県支部の参加意識を高めようという意図から持ち回りで教育研修会を設定してきたが、今回は埼玉県支部の上小鶴正弘先生にお願いした。

講師と演題は第1席が国立西埼玉中央病院整形外科医長、滝澤 博先生の「骨粗鬆症の治療法と中期成績」で、滝澤先生が10年来体系的に取り組んでこられた骨粗鬆症の薬物療法について最新の診断機器を駆使して厳密に評価した結果を報告していただいた。骨粗鬆症の薬物療法は多々あり、治療法の選択に苦慮するがEBMに基づいた治療法の提示は説得力があった。

第2席は癌研究会附属病院整形外科部長、川口 智義先生の「骨軟部腫瘍治療の現状」ですばらしい治療成績をお示しいただいた。分かりやすく美しいスライドで、「なるほどこれなら」と感服させられた。

今回は日整会教育研修の他に、会報第44号に黒島先生にご寄稿いただいた「医師と労基法」に関連して労働基準法の知識を深めようという会員の要望に応えるために、労働省労働基準局庶務課長、中野雅之先生にご講演をいただいた。詳細な資料をもとに分かりやすい解説をしていただき、大変有意義であった。会員からも社会に広く目を向けられるように今後もこのようなテーマを取り上げて欲しいという感想が寄せられた。国家公務員の中野先生にはまったくのボランティアでご講演をいただくことになったが、本講演をセッティングしていただいた三笠 元彦先生には心から感謝申し上げます。

各県持ち回りは会員数の少ない山梨県を除いてこれで一巡したので次回からは別の企画で教育研修会を設定する予定である。  
(事務局：関 寛之)

## 骨粗鬆症の治療法と中期成績

国立西埼玉中央病院 整形外科 滝澤 博

平成6年ごろより、全国の自治体で骨量検診が始まり、骨粗鬆症に対する関心が、一般の人々のみでなく、医療関係者にも高まった。本症についての診断基準は1996年に骨代謝学会にて改訂版が示され、広く用いられるようになった。しかし、この診断基準も、2001年には、更に改訂されようとしている。

今般は、本題に先立ち、改訂の要旨を解説する。また、国立西埼玉中央病院整形外科では、平成4年から、骨粗鬆症の予防と治療ドックを開設しているが、当科における治療法の原則、薬物療法の実際と中期成績について述べてみたい。今回報告の治療対象は184例の女性で、40才から65才までが約80%を占めている。全員、最低1週間入院し、当科としての、いわゆる、evidence-based medicineを得るための検査等をし、薬物療法の内容を決定し、治療を開始している。使用した薬剤は内服薬6種類、注射薬1種類を組み合わせ使用した。内服薬の組み合わせのみでも18種類にのぼっている。follow up期間は、11ヵ月-77ヵ月で平均2年9ヵ月である。日常生活指導、食事療法、運動療法は全症例とも受けている。

骨密度測定は、治療開始前から、1年-1.5年ごとに行っている。平成12年6月までに、最低2回以上骨密度測定した症例が184例にのぼっている。骨密度の変化を年率でみると腰椎前後(L2-L4)では約60%が増加し、減少率をみると、年率3%以下に押さえる事ができた症例は約93.5%であった。腰背部痛等の臨床症状の変化は、比較的早期に消失している症例が多く、再発も少ない。圧迫骨折の発生例については、治療開始時に3椎体以上骨折している症例に、圧迫骨折が増加していることが判明した。骨粗鬆症の治療は、治療担当者が、自らの治療効果を客観的に自覚できる事が必要であることを痛感している。

# 骨軟部肉腫治療の現況

癌研究会附属病院整形外科 川口智義

骨軟部肉腫の治療はこの20年間で治療法がめざましく向上した。ちなみに、骨肉腫・ユーイング肉腫などの高悪性群の10年生存率は60%、化学療法が奏効した例では70%に達している。低悪性群に分類される軟骨肉腫などではさらに経過は良好で生存率は80%である。軟部肉腫でも高悪性群60%、低悪性群90%の生存率が得られている。このような治癒率の向上のなかで、現在骨軟部肉腫の手術法は患肢温存が主流となり、90%の例で患肢が温存できている。

## 手術の基本概念

骨軟部肉腫の手術は、治癒的広範切除の概念に従った方法で行う。これは、腫瘍の発育がバリアーの存在する部では抑制されるがその他の部位では深く浸潤し得る事実から、バリアーの存在する部位ではバリアー外で、バリアーの存在しない部位ではできるだけ腫瘍から離れた部位で切除を行う手術原則である。

この治療法導入後は術後の再発率は著明に減少した。しかし当初は根治性への不安から切除範囲は現在より大きく患肢温存の適応も限られていた。そこで患肢温存率を向上するために必要最小限度でしかも十分な根治性が得られる安全な切除縁を明らかにする必要性が生じてきて、そのため切除縁評価法が作成され1989年に日整会骨軟部腫瘍委員会で承認された。その後この評価法を使った切除資料の評価と術後再発の follow study が行われ、現在までの解析では安全な切除縁は以下の如く考えられている。

## 安全な切除縁

手術単独では根治性を達成するには3 cm広範囲手技が必要である。術前療法が有効な場合2 cm広範囲手技で良い。さらに、術前療法が著効した場合1 cm広範囲手技が許される。再発例では腫瘍の高悪性・低悪性に関係なく治癒的広切手技つまり5 cmの切除縁が必要である。低悪性腫瘍の場合、バリアーの部位では辺縁切除あるいは1 cm広範囲手技で許されるがバリアーの存在しない部位では高悪性腫瘍の場合と同様に2～3 cm広範囲手技が必要である。スキップ・リンパ節転移の合併する例では現在安全な切除縁は確定されていないが実際には治癒切除手技で経過を見ている。このような原則に従って画像所見に基づき安全な切除縁を達成すべく手術計画を立てるが、その際にはバリアーを一定のスコアで換算して切除範囲を決める必要がある。なぜならここで言う安全な切除縁はこのような換算法を経て得られたものであるからである。また安全な切除縁の達成が難しいと予測される例では腫瘍の悪性度に関係なく術前放射線治療を行うと根治性が上がる。以上のような安全な切除縁を考慮して手術計画を立てれば、手術に起因する再発はほとんど解決でき、近年の予後改善の大きな要因になった。

## 術前療法

予後改善の要因の一つとして、化学療法も大きな役割を演じており、通常高悪性肉腫では原則として化学療法が実施されている。骨肉腫、ユーイング肉腫では高い感受性が期待できることから術前から薬剤投与が行われ、切除縁縮小が可能になり、術後の薬剤使用に際しての感受性テストとして利用される。一方軟部肉腫では、薬剤の有効性が必ずしも確定せず術前療法が一般化しつつあるのは円形細胞肉腫やすでに遠隔転移を生じている例に限られ、多くは術後化療として行われている。

## 再建法

ひとたび、安全に切除がなされると次に再建法が問題となる。再建法には骨欠損に対しては人工関節、血管柄付き骨移植、パストール法による罹患骨の再利用法を行う。いずれを選ぶかはそれぞれの利点欠

点を十分考慮して選択する必要があるが、パストール骨の利用は体重負荷の無い部位の骨再建に有利である。

血管の浸潤への対策では、血管が腫瘍に囲まれている場合は合併切除し人工血管、自家静脈を用いた血管移植が必要であるが、腫瘍に接している場合はパストール法やこの手技に準じたアルコール処理により温存でき、患肢温存に威力を発揮している。神経浸潤は、直接浸潤が明らかな場合は神経切除が必要であるが、腫瘍に接する場合には血管同様パストール法やアルコール処理が有効である。

皮膚の広範な欠損には、筋肉皮弁、筋膜皮弁、それらに血管柄付き骨移植を加えた複合組織移植を実施している。さらに最近ではこれら種々の再建手技を同一症例に複数応用することにより病期の進んだ例でも患肢体の温存が可能となってきている。

#### 一般病院との連携について

従来は生検にて悪性と診断されてからの紹介される例が多かった。しかし、最近では①生検創が患肢温存術の障害となることが多いこと②確実な診断には生検により得られる新鮮組織を用いた遺伝子解析が不可欠なことなどの理由から、腫瘍発見時できるだけ早期にコンサルトしていただくことをお願いしている。

## お知らせ

### 平成13年度関東地区整形外科勤務医会総会 第32回日整会認定教育研修会

関東地区整形外科勤務医会では、下記のごとく幹事会、総会及び教育研修会を開催いたします。なお、研修会の出席予約は要りません。認定医以外の先生方もお誘い合わせの上、ご参加下さい。会終了後、懇親会も予定しています。

#### 記

日 時：平成13年6月9日（土）14:30～18:00  
会 場：住友化学・参宮寮（地図参照）  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木4-1-3  
TEL 03-3320-3994

幹事会：14:30～15:15

総 会：15:20～16:00

教育研修会：16:00～18:00

- (1) 腰椎迂り症に対するPLIFのコツ  
(16:00～17:00) (N 1単位)

講師：N T T 東日本関東病院整形外科  
部長 下出 真法 先生

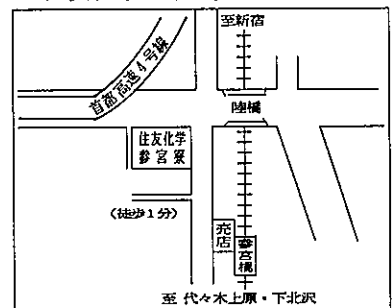
- (2) 慢性関節リウマチにおける骨、関節破壊のメカニズム  
(17:00～18:00) (N,R 1単位)

講師：東京大学医学部整形外科  
教授 中村 耕三 先生

会 費：1題 2,000円

懇 親 会：ひきつづき18:15より同会場において行います。 共催 住友製薬株式会社

住友化学工業(株)参宮寮案内図



(中央線) 東京 20分  
(小田急) 新宿 ++++++ 参宮寮 10分

■ 駐車場はご座居ません。

## 会員の異動

### 新入会員

市村 晴充 筑波記念病院  
〒300-2622 茨城県つくば市要1187-299  
TEL 0298-64-1212

金尾 豊 谷津保健病院  
〒275-0022 千葉県習志野市谷津4-6-16  
TEL 047-451-6000

小澤 正宏 谷津保健病院  
〒275-0022 千葉県習志野市谷津4-6-16  
TEL 047-451-6000

### 退会者

佐々木 克(東京) 鈴木 昌彦(千葉)  
関 美世香(埼玉) 高橋 淳一(千葉)  
原 徹也(東京) 馬見塚尚孝(茨城)  
天門 永春(神奈川) 市川 将美(埼玉)

これまでの勤務医会へのご協力ありがとうございました。

### 勤務医会入会のご案内

かつては大学医局のローテーションでたまたま勤務医であるとか、開業するまでの腰掛けで勤務医をしているとか、勤務医はidentity crisisに陥っていた時代があった。しかし、今では勤務医は医療を行う環境もよくなり、臨床研究も行えるし、余暇も取りやすいので積極的に勤務医の立場を選ぶ若い医師が増えてきたように思う。私の印象では若いドクターに勤務医会への加入を勧めて断られた記憶は少ない。組織力の強化がなかなかかからないのは会員の先生の入会勧誘への恥じらい躊躇が一番のバリアではないのかと思える。会員の先生、とくに医長、部長の先生、恥じらいをかなぐりすてて部下の先生を入会させて下さい。

ちなみに、私の勧誘の仕方は

1. 宴会やコンパのときに勤務医会の存在や日整会の3本柱の一つになっていると簡単に説明する。そのとき共通の友人、知人である人も会員だと紹介する。
2. 後日名簿の巻頭にある会則をコピーして渡し、

俺が手続をしておくからと了解をとる。

3. 会報の中にある入会申込書のコピーをとって必要事項を記入して事務局に送る。

4. 事務局から本人に名簿と最新の会報、会費の振込用紙が届くので、最初の会費ぐらいは太っ腹に医長部長のポケットマネーで払うか医局費などがあればそれで面倒を見てもらうと導入がスムーズに行く。(事務局 関)

### 入会申込書

平成 年 月 日

(フリガナ)

御 氏 名 \_\_\_\_\_

生 年 月 日 (大正・昭和) 年 月 日 \_\_\_\_\_

現 住 所 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

勤務先名称 \_\_\_\_\_

勤務先住所 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

e-メール \_\_\_\_\_

役 職 名 \_\_\_\_\_

出身大学 \_\_\_\_\_

卒業年度 \_\_\_\_\_

出身教室 \_\_\_\_\_

入会申込み送り先

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

国立身体障害者リハビリテーションセンター病院内

関東地区整形外科勤務医会事務局

関 寛 之

TEL 042-995-3100 FAX 042-995-0355

## 事務局日誌

- 平成12年12月2日 関東地区整形外科勤務医会幹事会および教育研修会
- 12月5日 日整会職域三者懇談会（大学、JCOA、勤務医会）
- 12月14日 教育研修会受講証を日整会に発送
- 12月16日 日整会より代議員選挙結果の通知（関東地区勤務医会からの立候補者9名が当選）
- 平成13年1月18日 日本整形外科勤務医会幹事会
- 1月26日 常任幹事会
- 2月5日 関東地区整形外科勤務医会の名簿を会員に発送
- 3月15日 会報44号原稿を印刷所に発送

### 編 集 後 記

5年間、関東地区整形外科勤務医会の事務局を担当させていただきました。この間、会報の号数にして15号を発行させていただきました。素晴らしいご寄稿を沢山いただきありがとうございます。ご寄稿を駄文で汚したことはお許し下さい。6月9日の総会で新役員が決まりますので、次号は新事務局から発行されます。

事務局の仕事も段々ふえてきました。主な仕事としては名簿や会費の管理、役員会・総会や教育研修会の設定、大学やJCOAなど外部団体との折衝、会報の発行、名簿や病院紹介の発行などがあります。一人体制では早晚担ぎきれなくなりそうです。名簿発行など限られた仕事は分担体制をとって事務局を支えていく必要があるでしょう。ご協力をお願いいたします。

10月8日

「骨と関節の日」

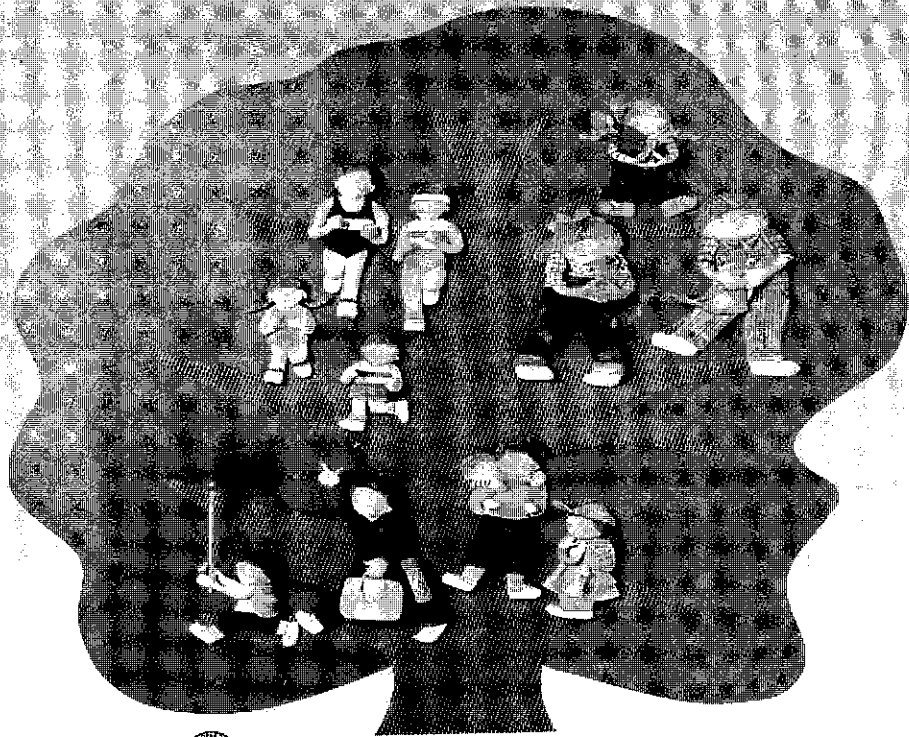
10月

「骨と関節の月間」

2000—2010年

「骨と関節の10年」

— 骨と関節の健康を考えましょう —



社団法人日本整形外科学会

住友製薬

# Didronel



骨代謝改善剤 エチドロン酸 ニナトリウム錠

特 指 薬 指 **タイドロネル錠200**

薬価基準収載

■ 効能・効果、用法・用量、使用上の注意等は添付文書をご覧ください

製造発売元

資料請求先 住友製薬株式会社

〒541 大阪市中央区道修町2丁目2番8号

Trademark and product under license from Procter & Gamble Pharmaceuticals, Inc. U.S.A

住友製薬

医保用具承認番号16200B2201201

骨補填材

## ボーンセラムP BONECERAM-P

バイオフィUNCTIONALな機能設計に基づいて製造されたハイドロキシアパタイトです。

- 特徴**
1. 骨動態学的特性を有しています。
  2. 生体適合性が優れています。
  3. 生物学的安全性が認められています。
  4. 力学的強度が優れています。
  5. 臨床的有用性が認められています。

性能、使用目的、効能または効果

骨または関節手術における骨補填。

使用上の注意

1. 本品使用の際は、無菌的に取り扱うこと。
2. 本品は滅菌済包装してあるので、手術直前に開封し、すみやかに使用すること。
3. 開封したものは再使用しないこと。
4. 本品は、できるだけ清潔な場所で保管すること。
5. 高度の荷重がかかる関節面の直下などにおける本品の単独使用は避けること。

使用方法

採骨部位または骨欠損部位に、予め生理食塩液に浸漬した成形加工品または顆粒を、充填又は補填する。



連絡先  
住友製薬株式会社  
医療材料部

大阪市中央区伏見町2丁目1番1号  
東京都千代田区神田駿河台3丁目11番地  
仙台市青葉区大町2丁目2番10号  
名古屋市中区代官町3番16号  
福岡市博多区博多駅前1丁目2番5号

TEL(06)6229-6649  
TEL(03)5290-6643  
TEL(022)281-2651  
TEL(052)935-3681  
TEL(092)431-6671

製造元  
住友大阪セメント株式会社  
東京都千代田区神田美土代町1番地

販売元  
住友製薬株式会社  
大阪市中央区道修町2丁目2番8号